

2014年8月7日

横浜ゴム、接着剤を使用しない一般家庭用 LPG 高圧ホース開発で 揮発性有機化合物の使用量を大幅に削減

横浜ゴム（株）は、一般家庭用 LPG 高圧ホースについて、製造工程で従来必要とされた接着剤を使用しない新仕様のホースを開発した。これに伴い、接着剤塗布の際に溶剤として用いていた揮発性有機化合物（VOC）が不要となる。これにより、LP ガス用ホースを生産する茨城工場の VOC 使用量は、従来品からの切替えが完了した 2013 年 5 月以降の 1 年間で、前々年の同期間より約 25% 削減された。

一般家庭用 LPG 高圧ホースは、屋外にて LP ガス容器と圧力調整器の間に配管され、LP ガスの輸送に使用される。内面樹脂層、内面ゴム層、補強層、外面ゴム層の複数層から構成され、中でも内面樹脂層は内面ゴム層に含まれる配合剤の LP ガスへの抽出防止と、LP ガス透過を抑える役割を果たしており、この内面樹脂層と内面ゴム層を接着させるために接着剤を用いていた。今回の開発では、内面ゴム層にエポキシ化天然ゴムを新たに配合、また加硫条件を最適化することで、接着剤を使うことなく内面樹脂層と内面ゴム層を接着させることに成功した（特許取得済み）。製造過程で接着剤を使わない一般家庭用 LPG 高圧ホースの販売は市場では初めてとなる。

横浜ゴムは、中期経営計画「GD100」の基本方針に「トップレベルの環境貢献企業になる」を掲げており、「すべての商品を環境貢献商品にする」「トップレベルの環境対応生産を行う」ことを目指し、活動を進めている。VOC の削減にも注力しており、基準値として設定する 2000 年度の VOC 総排出量約 2,100 トンに対し、2013 年度は約 797 トンと基準比 3 割程度まで削減した。今後も引き続き、横浜ゴムグループ全体で VOC 削減に関する取り組みを推進していく。



LP ガス用高圧ホース

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：山下
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570